

上小山田町の谷戸に広がる田中さんの畑。町田の原風景です



12月～3月の主力商品は菜の花とほうれん草。品評会の参加にも意欲的です

苗作りのための立派なハウス。水やりや温度管理のための設備が充実



収穫時期を迎えた菜の花



夏はオクラを栽培。手際よく収穫作業をすすめます



発芽して20日目のほうれん草。これから大きく成長します

サラリーマンの家庭で生まれ育った田中溪さんが農業を目指すきっかけは祖父の田中良一さんの存在でした。「おじいちゃんはこの上小山田で農業を生業にしている、幼い頃からよく手伝っていたんです。それがすごく楽しくて。将来は大好きなおじいちゃんと同じ農業の仕事がしたいと、東京農業大学に進学し、農業を学びました。現在、年間を通して作っているのはオクラ、ほうれん草など6品目。都市型農業では「少量多品目」が一般的といわれている中、田中さんはあえて品目数をおさえ、ひとつひとつの野菜の品質向上に力を注いでいます。「良い野菜をたくさん作って、たくさんの人に喜んでほしいです」と話す田中さん。「日曜朝市」などにも積極的に出店し常にお客様の声に耳を傾けています。大学で学んだ知識と経験を生かして独自の農法を研究しつつ、ハウスの設備工事も自ら行っています。マルチな才能と若さあふれる行動力で、町田の農業の未来を担う若手のホープです。

まち☆ベジ ファーマーズ file #02

田中 溪さん 上小山田町

大好きなおじいちゃんが  
残してくれた畑で

